

B 個別学習 (B 3)

主な学習活動

留守番電話のメッセージに対して折り返しの電話の内容を考え、録音する。

1 本時のねらい

電話での対応で用いる表現の意味や働きの理解をもとに、留学生が残した留守番電話に対して、折り返しの電話で必要な情報を伝えることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

プロジェクタ

音声作成

プレゼンテーション

3 参考にしてほしいポイント

プレゼンテーションアプリ「ロイロノート」を使って生徒が録音した留守番電話のメッセージに対するALTの反応を視聴することで、伝えきれなかった内容やよりよい表現方法に気付き、内容に改善を加えることができる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
導入展開	留守番電話を聞いたALTの反応から足りない情報に気付き、伝える内容に改善を加える。	(プロジェクタ) 前時に録音していた留守番電話の内容に反応するALTの姿を投影することで、ALTの発言の端々や困っている様子から足りない情報に気付かせる。 (ロイロノート) 足りない情報を付け加えて内容を改善し、共有しながら話し合わせることで、伝え切れていない内容やよりよい表現方法に気付かせる。

タブレット

+

プロジェクタ

留守電の情報が足りずに困っているALTの様子を投影する。



「I don't know where to meet.」
と言ってるな。待ち合わせの場所を伝えなくちゃ。

電話をくれたことについて、最初に御礼を言ったらどうかな。



録音をして自分の発音を確認してから提出しよう。

**4 活用効果**

生徒は留守番電話を聞いたALTの英語のつぶやきから自分の提出した録音を振り返り、足りない情報に気付くことができた。また、その気付きから改善した内容をグループで協議することで、よりよい表現方法で伝えきれない内容も付け加えてメッセージを伝えることができた。1人1台端末の環境で一人一人が自分の話した英語を録音して聞くことができるため、生徒は自身の英語で改善が必要なところに気付くことができた。

5 アドバイザーからのコメント

生徒が録音した留守番電話を聞いたALTの反応を視聴して、自分で振り返るといった新しい取り組みで、優れています。英語圏のネイティブである人の反応を見て、自分で振り返るのは、英語圏の現地に行って、自分の言葉が伝わるかどうか学習していることと同じです。
(東京工業大学 赤堀侃司)

実際に近い状況を教室において再現することで、コミュニケーションの本質を考えることができる実践となっています。音声記録に加えて映像記録を用いる場面をつくることで、伝える際の表情や動作などについても検討する機会とすることができそうです。
(福島大学 平中宏典)